

令和3年5月21日  
総務省  
(一財)自治体国際化協会

第15回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）

自治体国際交流表彰（総務大臣賞）は、日本と外国の自治体の姉妹自治体提携等に基づく交流活動のうち、創意と工夫に富んだ取組を行っている団体を表彰し、広く全国に紹介することによって、自治体国際交流の更なる活性化を図り、もって地域の国際化に資することを目的としています。

このたび、次のとおり受賞団体が決定しましたので、お知らせいたします。

受賞団体

- ・ 特定非営利活動法人 三重県日本中国友好協会（三重県）
- ・ 名寄・リンゼイ姉妹都市友好委員会（北海道）
- ・ 鶴岡・ニューブランズウィック友好協会（山形県）

(添付資料) 資料1 受賞団体の取組概要

資料2 自治体国際交流表彰（総務大臣賞）の概要

(連絡先)

総務省自治行政局国際室 後藤参事官補佐、大橋、河合

電話：03-5253-5527（直通）

FAX：03-5253-5529

E-mail：kokusai@soumu.go.jp

(一財)自治体国際化協会交流親善課 松田課長、島内

電話：03-5213-1723（直通）

FAX：03-5213-1742

E-mail：shimai@clair.or.jp

## 第 15 回自治体国際交流表彰（総務大臣賞） 受賞団体の概要

## ・ 特定非営利活動法人 三重県日本中国友好協会（三重県）

交流先	河南省他（中華人民共和国）
姉妹（友好）都市提携年月日	昭和 61 年 11 月 19 日
取組概要	別紙 1 参照

## ・ 名寄・リンゼイ姉妹都市友好委員会（北海道）

交流先	リンゼイ・名寄提携委員会（カナダ）
姉妹（友好）都市提携年月日	昭和 44 年 8 月 1 日
取組概要	別紙 2 参照

## ・ 鶴岡・ニューブランズウィック友好協会（山形県）

交流先	ニューブランズウィック市、 ニューブランズウィック姉妹都市委員会 （アメリカ合衆国）
姉妹（友好）都市提携年月日	昭和 35 年 6 月 10 日
取組概要	別紙 3 参照

(参考) 各団体の位置

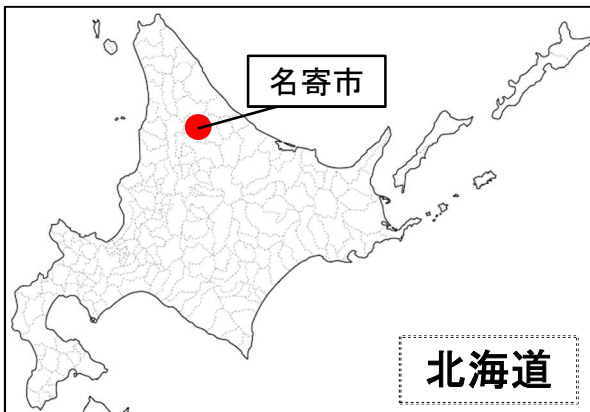
○三重県



○河南省 (中華人民共和国)



○名寄市 (北海道)



○カワーサレイクス市リンゼイ (カナダ)



○鶴岡市 (山形県)



○ニューブランズウィック市  
(アメリカ合衆国)



## 自治体国際交流表彰（総務大臣賞）の概要

### 1 主催

総務省、（一財）自治体国際化協会

### 2 表彰団体

日本の自治体と外国の自治体の姉妹自治体提携等に基づく交流活動を行っている次の団体とする。

- (1) 都道府県及び市区町村
- (2) 地域国際化協会、国際交流協会等の民間非営利団体

### 3 賞の種類及び表彰団体数

総務大臣賞 3 団体以内

### 4 審査基準

次の(1)～(6)の各項目を基準とする。

- |             |  |
|-------------|--|
| (1) 先進性     | 他の模範となる先進的な取組 等                                  |
| (2) 独自性     | 創意工夫、地域独自の特性を活かした取組 等                            |
| (3) 継続性     | 活動の継続、効果や実績の定着、(実績は少なくとも)今後の活動の継続性・発展性が期待できる取組 等 |
| (4) 活発性     | 活動内容の充実の度合い、頻度 等                                 |
| (5) 協働性・連携性 | 住民や企業との協働、連携 等                                   |
| (6) 効果      | 地域の国際化、地域経済の活性化、地域の知名度やイメージの向上 等                 |

### 5 選考方法

応募のあった団体及び、他団体から推薦のあった団体について、有識者等で構成する審査委員会（別紙）の審査を経て、総務省と（一財）自治体国際化協会が決定する。

## 第15回自治体国際交流表彰（総務大臣賞） 審査委員会委員

令和2年12月1日時点

委員長	ナカムラ アキラ 中邨 章	明治大学 名誉教授
委員長代理	エノキダ カツトシ 榎田 勝利	愛知淑徳大学 名誉教授
委員	アガタ コウイチロウ 縣 公一郎	早稲田大学政治経済学術院 教授
委員	アリタ ミチヨ 有田 典代	国際文化交流協会 事務局長 特定非営利活動法人 関西国際交流団体協議会 理事
委員	クニ ヨシコ 久邇 良子	東京学芸大学教育学部 教授
委員	コウ イ 孔 怡	株式会社天怡 代表取締役
委員	フジワラ ミチタカ 藤原 通孝	公益財団法人 全国市町村研修財団全国市町村国 際文化研修所 学長
委員	カミボウ カツノリ 上坊 勝則	総務省自治行政局 参事官 兼 国際室 室長
委員	トリタ コウヘイ 鳥田 浩平	一般財団法人 自治体国際化協会 理事

# 第15回自治体国際交流表彰の受賞団体の取組について (特定非営利活動法人 三重県日本中国友好協会)

交流先：河南省他(中華人民共和国)

## (1) 交流の経緯

- 1986年に三重県と河南省が友好提携を締結。以来、政府代表団の相互派遣のほか、教育・文化・経済・技術等の各分野にわたる幅広い交流事業を実施。
- 1998年に起こった長江流域等の大洪水を契機に、中国国内で自然災害防止等のため植林活動が国民的な活動として展開。これを支援するため、2000年から20年間にわたり、河南省内各地で植林活動を実施。
- 2018年に中国側団体の三重県内のサッカーに関する視察を受入れたことをきっかけに、津市内のサッカー少年団等と連携して少年サッカー交流を実施。

## (2) 取組の概要

- 20年間にわたる植林活動で、計1,616ヘクタールの土地に375万本を植樹。この活動のために三重県からは20年間でのべ100人が河南省を訪問し、河南省からはのべ1,000人が参加。
- 植林活動への参加により、両県省住民による友好交流が継続的に行われるとともに、築かれた信頼関係が他の分野にも波及。
- 三重県内の中国人留学生グループ等と連携し、中国人と日本人住民が参加する交流事業を開催し、多文化共生を促進。
- 中国で開催される「校庭サッカーサミットフォーラム」への三重県内の少年団指導者等の参加を通じ、中国の青少年育成に協力しているほか、今後は中国から小学生を招聘し、県内で少年によるサッカー交流を実施予定。



(2000年 河南省鄭州での植林作業)



(2019年 津市で開催された  
清華大学生の歓迎会)

# 第15回自治体国際交流表彰の受賞団体の取組について (名寄・リンゼイ姉妹都市友好委員会)

交流先：リンゼイ・名寄提携委員会(カナダ)

## (1) 交流の経緯

- 1969年、名寄市とリンゼイ市(現カワーサレイクス市)が姉妹都市提携を締結し、以来50年以上にわたって、両委員会が中心となり市民レベルでの交流を継続。
- 1973年には交換留学生派遣・受入事業が開始され、これまでに名寄市から41人、リンゼイから44人の高校生が参加。
- 2019年には姉妹都市提携50周年を迎え、一層の交流促進を図るため多くの記念事業を実施。

## (2) 取組の概要

- 交換留学生派遣・受入事業は、両市の高校生が約2か月間ホームステイを実施するとともに、学校訪問や地域イベントへの参加を通じて異国の文化に触れることで、日加友好親善の懸け橋となる人材や、市の国際交流事業全般に貢献する人材の育成に大きく寄与。
- 5年ごとに行っている市民親善訪問団の相互派遣は、名寄市から計8回157人、リンゼイから計10回185人が参加しており、地域の祭りやイベントへの参加などを通じて多くの市民と交流。
- 2014年からは海外文化の紹介や街中の賑わい創出などを目的としてハロウィンパーティーを実施し、毎年多くの市民が参加。
- 2019年の姉妹都市提携50周年を記念し、多くの市民の参加を得ながら記念講演会、記念誌の発刊、記念漫画の制作、イングリッシュキャンプなど多くの記念事業を実施。



(リンゼイ市民親善訪問団と50周年を祝い記念碑を建立)



(約半世紀にわたり行われている交換留学生派遣・受入事業)

# 第15回自治体国際交流表彰の受賞団体の取組について (鶴岡・ニューブランズウィック友好協会)

交流先：ニューブランズウィック市、ニューブランズウィック姉妹都市委員会(アメリカ合衆国)

## (1) 交流の経緯

- 1960年に鶴岡市とニューブランズウィック市が姉妹都市提携を締結。以来、学生交流をはじめとした相互訪問を定期的実施。
- 姉妹都市提携60周年にあたる2020年は様々な記念行事が予定されていたが、新型コロナウイルスの影響により中止となったため、有志がコロナ禍の中でも実施可能な交流活動である「One Heart プロジェクト」を実施。

## (2) 取組の概要

- 「One Heart プロジェクト」として、下記の活動等を実施。
  - ・ 米国の新型コロナウイルス感染率が増加する中、鶴岡市民から手作りマスクの寄贈を募り合計230枚をニューブランズウィック市に寄贈したほか、感染拡大鎮静化の願いを込め、鶴岡市民1,000人以上で制作した千羽鶴2組を送付。
  - ・ 鶴岡市民とニューブランズウィック市に向け、コロナ禍をともに乗り越えるための応援メッセージソング「One Heart-Keyword for the future-」を作成。メッセージソングに合わせて市長を始め100人以上の鶴岡市民が登場する動画を作成し、インターネットで配信。
- 上記の波及効果としてニューブランズウィック市より芸術面での交流の提案があり、姉妹都市間のバーチャルアート展覧会「Art of Diplomacy」を開催。



(寄贈した手作りマスクと千羽鶴)



(応援メッセージソング動画の1コマ)